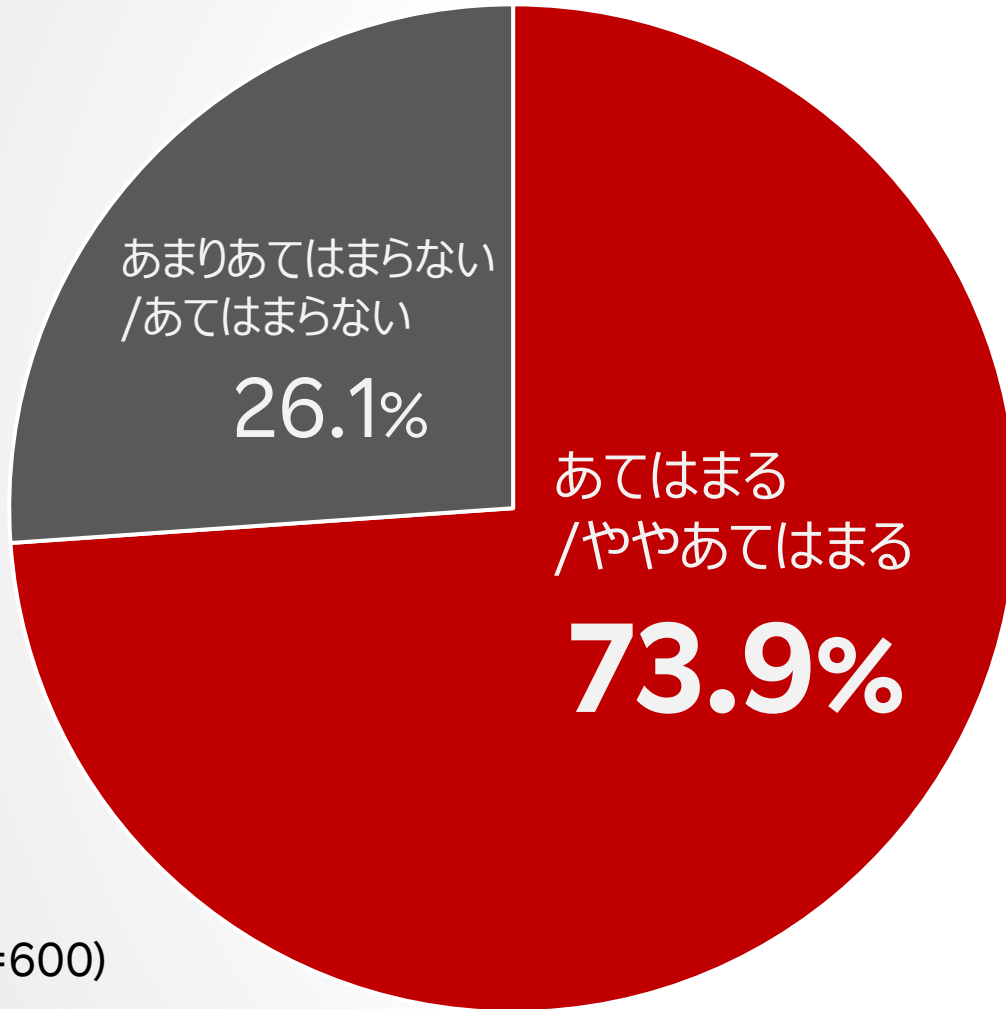


# 通信政策特別委員会（第10回） ヒアリング発表資料

2023年12月13日

楽天モバイル株式会社

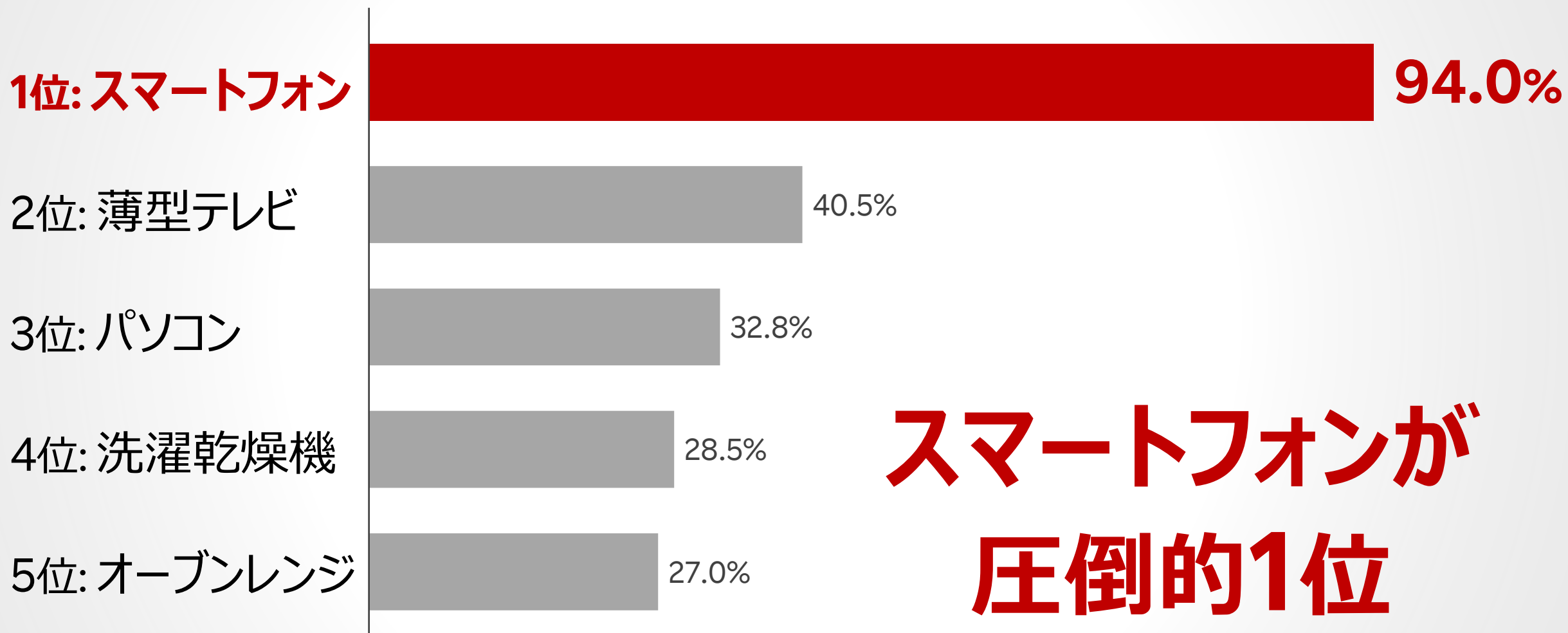
# Z世代(18-25歳)へのアンケート



(n=600)

スマートフォンや  
インターネットがないと  
生きていけない  
**73.9%**

# ひとり暮らしの生活で最も欠かせない生活用品は？



(n=400)

# 通信は 基本的人権



連絡

決済

投資

AI

学び

買い物

医療

娯楽

# 通信事業者の使命

安価で高速な  
制限のないネットワークを  
国民に提供

# NTT法の廃止



**国民の権利を脅かし  
負担を増大させる危険性あり**

# NTT法：現状の役割

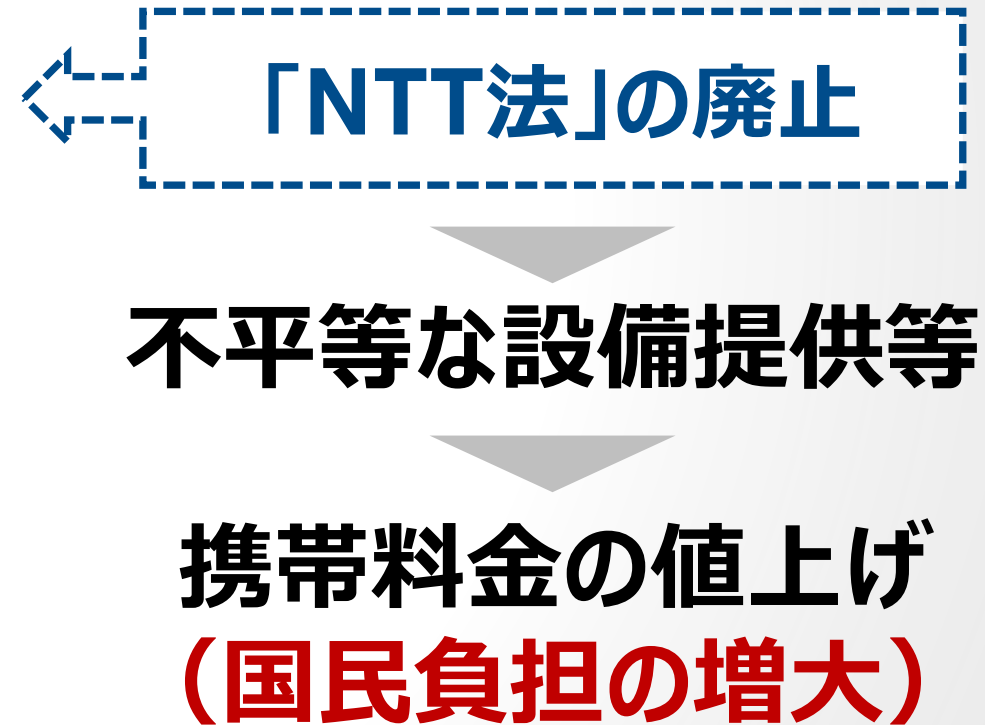
NTTグループの「特別な資産」等を監督することにより  
NTTと他通信事業者との公正競争を確保



通信事業者の  
公正競争を確保

# NTT法廃止のリスク①

国民負担により構築された「特別な資産」を民間企業であるNTTが独占すると、**公正競争が維持できない**





# NTT法廃止のリスク②

NTT法とは目的や役割が異なる「電気通信事業法」に  
「特別な資産」の規律を移行するのは不毛かつ困難

## NTT法

- <制定> 1984年
- <種類> 行政法
- <役割> 組織のルール

- 事業範囲規制
- 定款変更
- 合併認可 など

公正競争に関する  
規定を移行？

40年続いた法律と  
公正競争の  
崩壊の恐れ

## 電気通信事業法

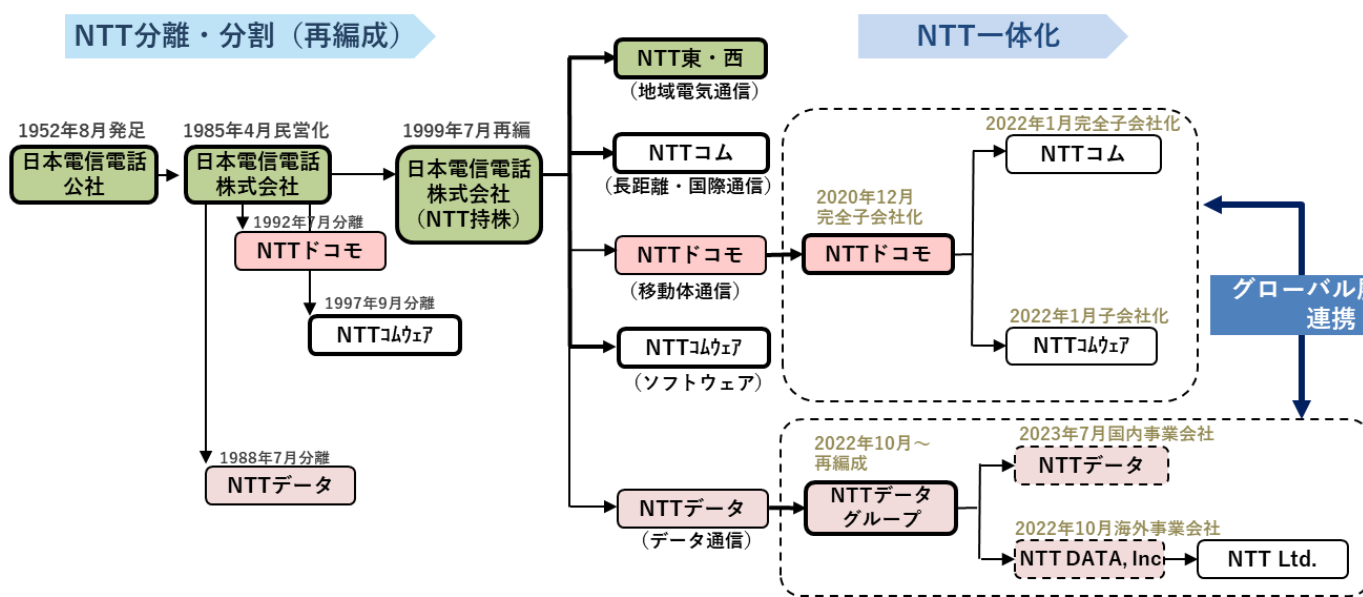
- <制定> 1984年
- <種類> 産業法
- <役割> 設備貸出ルール

- 事業者の登録
- 通信の秘密
- 接続ルール など

# NTT法廃止のリスク③

ドコモの子会社化を強行したNTTが NTT法の規律から外れることで  
「大NTT」が復活し、公正競争が一気に崩壊する恐れ

## NTT民営化・分離分割の流れ



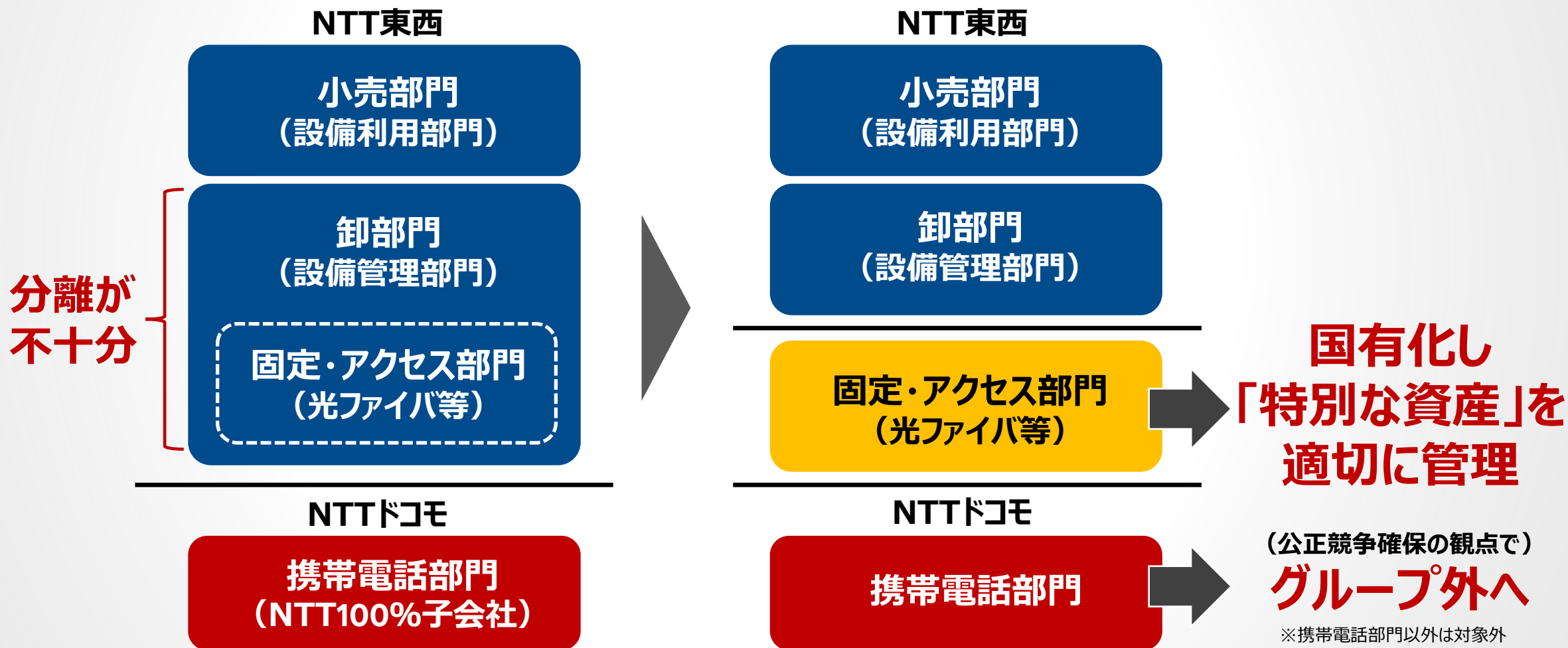
- 1985年：NTT民営化
- 1988年：NTTデータ分離
- 1992年：NTTドコモ分離
- 1999年：NTTコム分離、NTT東西分割  
ただし、持株体制により  
一体化は保持

2020年：分離の趣旨に逆行し、  
審議会の議論を得ないまま  
ドコモを100%子会社化

**NTT法の廃止ありきではなく  
「NTT法の改正」をもとに  
慎重に議論すべき**

# NTTの再度分割

## NTTグループから固定アクセス部門・携帯電話部門を分離



# ドコモ完全子会社化時のプロセス

1990年の政府方措置以来、公正競争確保に向け

30年に渡り積み上げられてきた議論が**極めて拙速なプロセスで覆された**

## ドコモ分割時の経緯

1990年 政府措置

1992年 郵政省およびNTT自身が  
以下の条件を発表

- 他社との同等性確保
- NTTの出資比率低下 など

→上記を前提に30年間、競争が促進

## 完全子会社化の経緯

2020年9月29日 完全子会社発表

2020年12月29日 **完全子会社化**

政府の議論も尽くされないまま  
「市場環境が変化」等のNTT側の  
主張を総務省などが事実上容認

# 与党におけるNTT株の売却の議論のプロセス

## 防衛財源確保の議論から始まったにも拘わらず、NTTのみの国際競争力強化の議論にすり替わりNTT法廃止の議論が進行

1

防衛財源特命  
委員会提言公開  
(6月)

「**防衛力強化の財源確保のために**あらゆる選択肢を排除し精査している」  
中で、NTT法の在り方を検討すべきとの主張

2

NTT法PT  
議論開始  
(8月)

特命委員会が6月に『**防衛財源の捻出という視点を大きく超えて**、わが国の情報通信産業の**国際競争力強化の観点**からNTT法の在り方について検討すべき』と提言したことを踏まえて設置された（小林PT事務局長）

3

NTT法PT  
提言公開  
(12月)

NTT株の保有義務をユニバーサルサービス等の担保措置と位置付け、NTT法におけるユニバーサルサービス責務とまとめて撤廃すべきと結論、**売却の是非については「政策的な判断」にゆだねることとしている**

# 参考：NTTの政治献金報道について

NTTグループの政治献金について報道されている

グループを通じた  
献金の拡大  
(2019年以降)

ドコモ等のグループ会社を使い、政治献金を実施  
2019年以降、約2倍の金額に

※参考：NTTは政治資金規正法により、献金を禁止されている

**より公正な競争環境**



**技術革新・価格競争により  
国際競争力の強化へ**





# ガラパゴスか、競争か

**Rakuten** Mobile